

板橋区スポーツ推進ビジョン（仮称）の策定について

1. 趣旨

東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定し、日本全体のスポーツに対する気運が高まっている。そうした中で板橋区では、スポーツ施策の充実を喫緊の課題として捉え、スポーツ振興の基本的な考え方の方向性を示す「板橋区スポーツ推進ビジョン（仮称）（以下「ビジョン」という。）」の策定に着手する。

ビジョンは、「する」・「観る」・「支える」を三本柱に据えて多面的なスポーツの視点を十分に反映させ、「スポーツを世界共通の文化として親しみ、様々な方法でスポーツを楽しむことによって、健康で心豊かに暮らすことができるとともに、プロスポーツやトップアスリート、大学などによる地域に根差した活動が郷土に対する愛着と誇りを高め、まちに感動やにぎわいを生み出すこと」を目的とする。

なお、ビジョンの根幹にある「する」・「観る」・「支える」の考え方は、平成22年8月に国が示した「スポーツ立国戦略」の中で、「人（する人、観る人、支える人）の重視」により「新たなスポーツ文化の確立」を目指すことに基づくものである。

また、ビジョンでは、スポーツを競技スポーツや運動及びレクリエーションだけでなく、健康づくりや生きがいつくりなども含めた観点としていく。

2. ビジョンの期間

区においては、概ね10年後の「あるべき姿」となる板橋区基本構想及び基本計画が新たに策定される。

ビジョンが目指すべき方向性を示す期間も、同基本計画と連動し、平成28年度を初年度として、平成37年度を最終年度とする10年間とする。

なお、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を踏まえ、今後5年間に集中して取り組むべき施策の方向性と、その5年後の2025年に団塊の世代が後期高齢者となることで生じる急速な高齢化を見据え、区民の健康づくりや生きがいつくりなども含めた戦略的なスポーツ施策の方向性を示すものとする。

3. 庁内検討組織

組織名	構成
スポーツ推進ビジョン (仮称) 策定委員会 ※2020年東京オリンピック・パラリンピック推進本部幹事会メンバーを以て充てる。 ただし、案件によって出席者を弾力的に運営することとする。	区民文化部長、政策経営部長、政策企画課長、経営改革推進課長、財政課長、広聴広報課長、総務課長、人事課長、地域振興課長、文化・国際交流課長、スポーツ振興課長、赤塚支所長、産業振興課長、くらしと観光課長、長寿社会推進課長、障がい者福祉課長、都市計画課長、土木部管理課長、教育総務課長、区議会事務局次長

※区民からの意見については、パブリックコメントのほか、体育施設利用者や既存事業参加者アンケートなどを行う。また、専門的な見地からの意見については、区と連携協定を結んでいるプロスポーツの代表者などから聴取し反映させていく。

4. スケジュール (案)

スポーツ振興ビジョン 策定スケジュール

	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
検討案作成	→											ビジョン完成
具体的課題の検討	→											
ビジョン骨子の作成					→							
パブリックコメント実施							→					
ビジョン最終案作成								→				
スポーツ推進ビジョン策定委員会	→									★		
ビジョン報告										→		
庁議報告	★						★				★	
議会報告		★					★				★	